



第24回地域療育講習会

医療福祉相談室 平岩 千映子

平成30年3月1日(木)、第24回地域療育講習会が多摩総合医療センターフォレストにて開催されました。テーマは「重症心身障害児者の骨折予防」でした。

はじめに、当センターの古田専任リスクマネージャーから「重症心身障害児者の骨折予防～日々のケアで工夫していること気をつけていること～」と題して、話がありました。内容は、主に重症心身障害児者の骨折の背景とセンターでの症例についてでした。変形・拘縮等が骨折への背景となっていること、府中療育センターでは、四肢の骨折が多いことの説明がありました。

次に、遠藤副看護師長からは、日々のケアについて、実際の映像を用い、ベットから車いすへの移乗と体位交換の説明が行われました。その映像をもとに柴田理学療法士、吉沢作業療法士から「移乗・体位交換時の複数対応におけるコミュニケーションが重要である」といった説明がありました。説明の最後に、骨折予防のためには利用者の四肢・関節の状況を把握し、複数名でコミュニケーションをとりながら、しっかりした支持面を作り、ゆっくりとケアすることが大切であるとまとめられました。

北療育医療センター整形外科医長の中村純人医師からは、「骨折予防～骨折しやすい方への対応～」と題してのお話がありました。北療育医療センター開設時の理念や歴史などの話からはじまり、施設内で行われた骨折調査の報告がなされました。この調査より明らかになったこととしては、原因が特定できない骨折が非常に多いという点と単一の危険因子からの骨折予測は困難であり、骨折は複数の要因が組み合わさって生じている可能性があるという点等でした。

骨折を予防するには、①骨が耐えられる以上の力が骨にかからないようにすること、②骨を強くすることという2点が挙げられました。①に関しては骨折事例がいつどこで起きているかといった分析や、介助する方法を検討することが大切ということ、②に関しては日常生活上の工夫（抗重力姿勢をとらせる、日光にあたる）こととともに、骨粗鬆薬の投与や副作用を抑えた抗てんかん薬の利用をすることが重要であると述べられていました。

質疑応答のコーナーでは30件以上の質問が寄せられ、関心の高さが伺われました。

全体で100名ほどの参加者がおり、アンケートの結果「写真、動画が使われていてわかりやすかった」「骨折の分析は、今後重心障害児者のご家族への説明に役立てていけるのではないかと思った」「今回の研修内容を職場で共有していきたい」等の意見をいただきました。

次回の地域療育講習会も、皆さまのご参加をお待ちしております。



卒業式 ～くぬぎ分教室～

くぬぎ分教室担任 大平 朋未

3月16日(金)に、都立府中けやきの森学園にて、高等部卒業証書授与式が行われました。くぬぎ分教室からは高等部3年の生徒が1名出席し、たくさんの方々から祝福を受けながら卒業証書を受け取りました。

卒業生は、今までの学習が積み重なり、好きな教材等を通して指先の動きを使い分け、やりたい気持ちが広がり、人との関わりも深まりました。信頼できる人の存在が支えとなり、後輩たちにも自信をもって活動を報告し、優しく後輩を見守るだけでない姿を見せてくれました。卒業後も病棟の方々との関係の中で楽しみを見出し、豊かな生活を送っていただきたいと思います。

また、在校生は3月23日(金)に修了式を迎えました。小学部の2人だけの式は今回が初めてです。先輩の卒業を改めて感じたことと思います。今年は2人で一緒に行う学習も増えて、友達を意識しながら励ましあって取り組んできました。2人ともコミュニケーションは豊かになり、いろんな気持ちを伝えあえるようになってきました。来年度は互いに意見を伝えあうだけでなく、話し合ってまとめていけるようにして行って欲しいです。

最後に、今年度の取り組みで感じることは、府中療育センターの方々とのつながりの大切さです。児童・生徒のことを皆さんと共有しあい協力していただいて、教育活動の幅を広げることができました。ご配慮、ご協力いただき、本当にありがとうございました。



ホワイトデーの行事食

栄養科 栗林 淳

3月14日(水曜日)の昼食に、ホワイトデーの行事食を提供しました。

メニュー(普通食)

- ・米飯
- ・かれのいのカレームニエル
- ハート人参グラッセ
- ジャーマンポテト
- ・野菜サラダ
(トマト, キャベツ, きゅうり)
- ・果物(みかん)
- ・デザート(レアチーズケーキ)



普通食



一口大食



やわらか食



ペースト食

3-2病棟 ひな祭りコンサート

保育士 上村 美恵子

3月6日(火曜日)、ヴァイオリン奏者をお招きし、ひなまつりコンサートを行いました。素敵な春の曲として、「ひなまつり」「赤いスイートピー」などの季節のメドレー、クラシックの曲では、「ゴゼックのガボット」、ポピュラーな曲では、「ムーンリバー」、その他ディズニーの曲が演奏されました。

また、ヴァイオリン奏者が利用者の近くまで来て演奏してくださり、利用者はヴァイオリンをじっくりと見つめ不思議そうな顔で聞き入り、曲が終わるとにっこり笑顔を見せていました。

病棟が弦楽器の響きに包まれ、演奏後も利用者の表情から笑みがこぼれ、余韻を感じていました。ご家族からも好評で、弦楽器をじっくり見ながら楽しむ素敵なコンサートでした。

2階病棟合同行事 「梅の会」

保育士 村山 和子

3月14日(水曜日)に行った、今年度2度目の2階合同行事は、「フラダンス観賞」でした。府中市で活動されている「Ha・lau・Na・lei・0・Ka・Lehua」(ハー・ラウ・ナー・レイ・オ・カ・レファ)の皆さんが来てくださいました。会は二人の梅娘の登場からはじまりました。その後、本物のフラダンサーに会場の全員が釘づけになりました！フラダンスの曲は、全身に癒しとゆとりのシャワーをかけてもらったような心地よさで、利用者、職員ともども見入ってしまいました。会の最後には、2-Aの利用者からお礼の可愛いハートのカードを渡し、今回の会は終了しました。また、是非来ていただきたいです。



平成29年度東京都立府中療育センター院長表彰

平成29年3月19日(月曜日)、平成29年度の功績をたたえ、院長から受賞者に対して、表彰状が授与されました。

受賞者(団体)及び取組内容

- 緩和ケアチーム(緩和ケア認定看護師ほか8名)
「緩和ケアチームにおける活躍」
- ICTチーム(感染管理認定看護師ほか12名)
「感染管理の充実強化への取り組み」
- 指導科通所担当(主任技術員ほか14名)
「重症利用者の積極的な受け入れと満足度の向上に対する取り組み」
- 事務室庶務担当(2名)
「新センター開設準備への取り組み」



4-2病棟 春のコンサート

保育士 瀬野 由佳

今年度、最後の行事となる「春のコンサート」は、3月の誕生者へのメッセージの後に、「コスモス・ベアーズ」の方々によるフルート四重奏のコンサートを実施しました。演奏者が着ているピンクや黄色の華やかなドレスは暖かい春の雰囲気を感じさせてくれました。リズムの良い楽曲に思い思いの楽器を鳴らしている方もいました。中でもドレミの歌では、ハンドベルやディスクベルを利用者やご家族の方と一緒に演奏したり、用意していただいた歌詞カードを見ながら口ずさんだりしました。曲に合わせて、シャボン玉をとばす演出があり、大いに盛り上がりました。演奏中は、感激して涙ぐむ方、腕を振って喜ぶ方など楽しんでいる様子がみられ、利用者はもちろん、ご家族、職員も穏やかな笑顔で和やかなひとときを過ごすことができました。



第4回 動物とふれあう会

保育士 星屋 聡子

平成30年2月28日(水)に「第4回動物とふれあう会」を実施し、日本動物病院協会から10頭の犬と12名のボランティアの参加がありました。

利用者は、ひな祭りの着物を着ておしゃべりした犬や棒飛びをする犬のパフォーマンスを見て、ニコニコしていました。「ふれあいタイム」では、利用者が実際に犬を抱いたり、撫でる体験をして、笑顔と歓声があふれるひと時を過ごすことができました。

日本動物病院協会によるこの活動は、平成21年にスタートしました。日頃のボランティア活動に感謝し、昨年の府中療育センター祭りでは、「ボランティア表彰」を行ないました。

ボランティアの皆様、いつもありがとうございます。そしてこれからもどうぞよろしくお願い致します。



〒183-8553

東京都府中市武蔵台2-9-2

東京都立府中療育センター

電話 042 (323) 5115

Fax 042 (322) 6207

--*ホームページもご覧下さい*-*-*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>